



# 令和2年度 6月人権一口講座



## 「正しく恐れる」

令和二年度に、ふれあい文化センターへ配属となりました。通勤方法が電車通勤へと変わること、この時期に電車に乗るのは怖いものだなと真っ先に思いました。

そうです。新型コロナウイルスの感染への不安からです。連日、報道がない日がないほど、国においても、首都や地方都市においても一大関心事となっています。

新型の病原体に対して、各国が治療薬の開発などの研究を急いでいるようですが、考えてみれば私が小さいころは、ウィルス（インフルエンザ）に効く薬はない時代であり、抗インフルエンザウイルス薬が開発され日本での保険適用が開始となったのは、今世紀になってからです。

人類の歴史は感染症との闘いだと言われています。過去にはペストやコレラ、スペイン風邪など世界を変革するような感染症が猛威を振るっていたようです。その最前線で活躍している医師や看護師の方々には敬服します。

ところが、そのような職種ということで、タクシーの乗車を拒否されたり、同居家族の出勤が拒否されたりしている事例があるようです。

また、世界ではアジア系というだけで住民が差別を受けたり、国内でも他県ナンバー車が通行すると、あおり運転や投石をされるという事態も生じています。

家庭内でも経済的な不安から夫婦関係がぎくしゃくし、暴力につながるケースもあるそうです。新型の病原体に対する治療法がまだ確立されていない不安からそのような行動を起こすのでしようが、このような情勢だからこそ心にゆとりを持ち他人を攻撃しない、差別しないという心掛けが大事なのではないのでしょうか。

この新型コロナウイルス禍もいずれは終息するでしょう。禍が終息した後に修復できないほどに関係が悪化してしまうのでは、病气との闘いに負けてしまうことにならないでしょうか。

わだかまりを残さないためにも、「コロナ禍発生前までの家族や他人との良好な関係を保っていくためにも、「正しい知識」をもって「正しく恐れる」ことが一番大事だと思います。

〔熊本市ふれあい文化センター広報紙「かけはし」令和二年度六月号より〕

## 短いメッセージ

どうしたの ひとりでいないで こっちにおいて  
友だちがいれば 楽しいよ

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会 人権カレンダー 城西小学校2年 若松憲生さん (2019年度の作品より)